

## 雨の日の事故防止のポイント

自動車関連情報アーカイブ

### どうして雨の日は事故が増えるの？ 事故パターン分類

#### 「雨に濡れたくない」という気持ちから起きる事故

同乗者や荷物を濡らさないために**屋根がある所に強引に向かう**

車の後方ガラスに雨滴がついていても、**窓を開けずにいい加減にバック**

歩行者・自転車側も濡れたくない**と急いで、信号無視や無理な横断**

**傘差し自転車は不安定で**視野も狭く、危険

#### スリップによる事故

追い越しや車線変更による急加速

スピードの出し過ぎ、前車へ近づきすぎた後の急減速

水溜りができやすいカーブでスピードを出す

タイヤの磨耗が激しく、空気圧が低い

#### 見えないことによる事故

窓ガラスを清掃していないと、**暗闇に加えて雨滴で視界が不良**

ワイパーの性能が低下、または届かない所でぬぐえなかった雨滴により、**隠れた危険を見落とす**

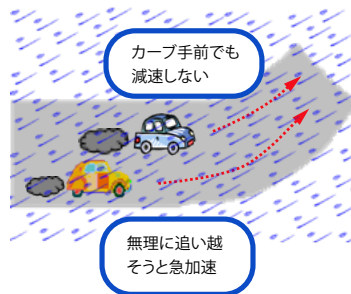
夜間は暗がりにいる**歩行者・自転車の発見が遅れる**

歩行者・自転車側も視界が悪く、**車を見落として道路を横断**

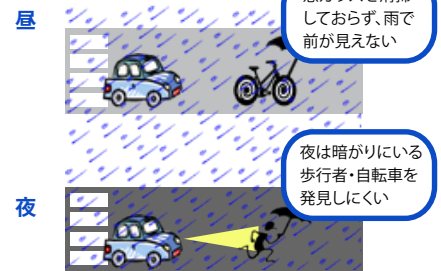
雨に濡れたくない



スリップ



視界不良



ちなみに、首都高速道路では、雨の日の事故は晴れの日の約5倍！（首都高速道路株式会社調べ）

### 雨の日の事故を防止するポイント

- 一、 タイヤの溝やワイパーのゴムが磨耗していないか、空気圧が適正かチェック
- 一、 車間距離はいつもの2倍
- 一、 カーブ手前でスピードダウン！急ハンドル・急ブレーキ禁止！
- 一、 マンホールや工事現場の鉄板、踏切の信号等滑りやすい箇所の通過は慎重に
- 一、 早めにライトを点灯し、視界確保、自車の存在をアピール
- 一、 集中豪雨など異常気象で運行に支障が出る場合について措置を講じておく

体調管理は  
しっかりと

普段は休まず運転している距離でも、疲れがたまっていたら、休憩を！  
暑い季節は特に、自分が感じている以上に疲れがたまりやすいものです。